

復興へ 頑張ろう！ みやぎ 県政紹介 シリーズ③

防災道路ネットワークの構築を図っています

東日本大震災では、三陸自動車道などの沿岸部の高速道路が、津波の影響をほとんど受けることなく、救急救命活動や緊急物資輸送に重要な役割を果たしました。沿岸部と内陸部を東西に結ぶ幹線道路についても、被災地への緊急輸送ルートとして機能したことから、高速道路や幹線道路の重要性が改めて認識されました。県では、今回の大震災の経験を踏まえ、「防災道路ネットワーク」の構築に取り組んでいます。

沿岸部と内陸部を結ぶ東西交通軸の強化

今回の大震災では、沿岸部の高速道路や沿岸部と内陸部を結ぶ幹線道路が、「命の道」として、救急救命活動や緊急物資輸送などに大きな役割を果たし、その重要性が改めて確認されたところです。このことから、三陸自動車道や常磐自動車道など沿岸の縦軸と東北自動車道など内陸の縦軸とを横断的に結ぶ東西交通軸の強化は、防災道路ネットワークを構築する上で極めて重要であり、県内の各地域で整備を進めています。

●県北部
みやぎ県北高速幹線道路は、三陸自動車道と東北自動車道を結び、県北地域の交流・連携を支える重要な幹線道路であり、復興を支える道路として整備を進めています。

Ⅰ期区間(栗原市築館加倉、登米市迫町北方)は、平成23年度に供用し、Ⅱ期区間(中田、田子)は平成23年度に事業化、Ⅲ期区間(佐治、田子)およびⅣ期区間(築館、田子)については、今年度新規に事業化したところであり、三陸自動車道の工事の進捗しんちよくに合わせ整備を進めています。



Ⅰ期区間 若柳南IC付近

●仙台都市圏
仙台南部道路は、7月1日に宮城県道路公社から東日本高速道路(NEXCO 東日本)へ移管され、仙台都市圏高速環状ネットワークの管理の一元化が実現しました。これにより、道路管理の効率化や自然災害・交通事故など緊急時の迅速な対応が図られます。

●県南部
県道岩沼蔵王線は、県南地域を東西に結び、東北自動車道と仙台東部道路や仙台南部道路とを横断的に連絡する幹線道路です。現在、岩沼市大師から村田町姥ヶ懐間については、道路幅員が狭く、線形が悪い峠道となっているため、円滑な交通の確保に向け、平成24年度から郡界のトンネルを含む道路改築事業に着手しています。

これらの整備を行うことで、大規模災害発生時における交通ルートの確保はもちろんのこと、平常時においても物流や交流機能が向上することから、地域経済の活性化を促し、被災地の復興を後押しするものと期待されます。

宮城県内の防災道路ネットワーク



隣接県などをつなぐ広域道路網の整備

震災発生後、隣接県などをつなぐ広域的な道路網は、緊急輸送ルートとして重要な役割を果たしました。このため、宮城県と山形県を結ぶ国道347号など、広域道路網の強化に向けて整備を推進しています。

国道347号は、加美町内で冬期に閉鎖されていますが、山形県との連携を強化するため、平成28年度の通常通行化を目指し、道路拡幅工事や雪崩防止柵の設置などを進めています。

県境や郡界を越えた広域的な連携強化を図ることで、より災害に強い県土の構築につながります。

災害に強く豊かな県土を目指し、道づくりを進めています

大活躍の三陸道拡幅して

宮城県トラック協会専務理事
吉田雄三さん



物流の重要な担い手である宮城県内のトラック運送事業者を束ねる。より質の高い輸送サービスの提供を目指す立場から、道路ネットワークの構築にも手を挙げて賛意を示す。

「道路を活用して仕事をしている事業者としては、安全で円滑に利用できる道路が一番です。幹線道路と生活道路がスムーズにつながってこそ、滞りなく物流できます」。吉田さんは安全とスピードを両立させる道路整備を望む。

東日本大震災で、沿岸部の国道45号は大きな被害を受け、寸断された箇所もあった。被災地への物資運搬を担当したトラック協会は、三陸道の重要性を痛感した。だからこそ機能強化を求める。

「復旧・復興にも大活躍している三陸道ですが、震災後、混雑が目立ちます。片側1車線区間を早期に拡張してほしい。三陸道延長整備とともに、南三陸や気仙沼の国道、県道整備にも力を入れてもらいたい」

三陸道については「有料区間の料金がもう少し安くなると、運送業者としては助かるのですが」と注文も付け加えた。

被災時の物資輸送で気になる点もあった。救援物資は続々と集まってくるのだが、倉庫が不足して戸惑う場面が少なくなかった。「被災地に運ぶまで一時保管する倉庫がなくて、民間業者の倉庫探しで混乱しました。緊急物資を保管する公的な倉庫が必要だと思います」。吉田さんは体験上の教訓を提言した。

防災道路ネットワークの構築 ～その他の取り組み～

離島・半島部の孤立解消に向けた災害に強い道路の整備

気仙沼湾の大島と本土をつなぐ大島架橋や牡鹿半島をはじめとする半島部の幹線道路について、災害時でも集落が孤立しないよう、復興まちづくり計画との調整を図りながら、整備を推進しています。

特に、復興のシンボルとして位置づけられている大島架橋は、平成30年度の供用を目指し、本年度から橋の本体工事に着手します。



大島架橋完成イメージ図

道の駅の防災拠点化

道の駅は、今回の震災で、道路利用者などの一時避難場所や復旧活動の拠点として利用されました。この経験を踏まえ、交通規制などの情報提供装置を整備するなど、防災機能の強化に向けた取り組みを、国や関係市町と連携して推進しています。

橋の耐震化

今回の震災では、地震動によって落橋した橋はなく、これまで重点的に進めてきた橋の耐震化施策が有効であったことが確認されました。今後も、主要な幹線道路上の橋などについて、耐震化を進めています。

産業と観光振興に活用を

東北経済連合会理事・地域政策部長
小野晋さん



東北経済連合会は平成21年3月、「東北の高速道路の戦略的整備に向けて」と題する調査提言書をまとめた。道路整備をめぐる議論で使われる「費用対効果」について、日本で評価対象となってきた時間短縮などの3項目を見直し、安定性や雇用創出などといった既に欧州などの先進諸国が取り入れている総合的評価手法を導入するなどして、経済効果の検証方式を拡大したのが特徴だった。

「震災では、防災の側面などから評価され、「命の道」と言われた道路もありました。道路はいろいろな意味合いから成り立っており、単に需要だけでなく、社会性や経済面など幅広い観点から効果を見てほしいですね。」提言書作成に関わった小野さんは話す。

特に「復興道路」にも位置付けられる三陸道、常磐道の両路線の効果の大きさを重視する。

「沿岸部の被災地では、今後のなりわいを支えることが大切になります。産業を根付かせ、雇用を充実させるために道路が必ず役立ちます」

仙台圏にある港湾、空港というグローバルな機能を東北で広く共有できる道路ネットワークの重要性と、宮城県北の東西軸となる道路整備の重要性も指摘する。

「交通を活性化することで、観光資源の魅力が生きてきます。宮城の沿岸には魅力的な食があり、復興ツーリズムで子どもたちの関心も高まっている中、教育旅行の誘致に弾みをつけるような道路整備を進めてほしい」。小野さんは早期復興を願った。

県からのお知らせ

宮城県職員(警察事務)採用試験

- 職種・採用予定人員/①警察事務(短科大学卒業程度)・10人程度②警察事務(高等学校卒業程度)・5人程度
- 受験資格/①平成元年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方②平成4年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方
- 給与・待遇等/県の規定による
- 第一次試験日/9月29日(日)
- 申込期限/9月6日(金)(消印有効)
- 申込書/県警察本部警務課、県内各警察署、県人事委員会事務局などで配布
- ④ 県警察採用フリーダイヤル ☎ 0120(204)606 <http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/keimu/police/>

宮城県公立小中学校および宮城県立高等学校民間入校生募集

- 職種・募集人員/宮城県公立小中学校長・1人、宮城県立高等学校長・1人
- 給与・待遇等/県の規定による
- 申込受付期間/9月2日(月)～30日(月)(消印有効)
- 募集要項/県庁1階総合案内などで配布
- 採用予定日/平成26年1月1日
- ④ 県教育庁教職員課 ☎ 022(211)3637 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

みやぎ自然環境サーターナー養成講座受講生募集

- 内容/①自然観察と草木遊びの体験②秋の狩猟(せんでい)作業(除伐・刈り払い)の実習
- 対象・定員/18歳以上・各20人(応募多数の場合は抽選)
- 日時/①9月23日(月・祝)②10月6日(日)ともに午前9時30分～午後3時

- 場所/県青少年の森
- 費用/無料
- 申し込み/各開催日の10日前(消印有効)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、下記へ
- ④ 県森林インストラクター協会 ☎ 022(255)8223 〒981-0121 利府町神谷沢字菅野沢 41 <http://mifi.main.jp>

高卒・新入社員向け「職場定着セミナー」受講者募集

- さまざまな職種の同期社員の方々と交流を通して、入社後の振り返りや今後の目標づくりなどを行います。
- 内容/グループワーク
- 対象/平成25年度新入社員(平成25年3月以降の高卒者)
- 日時・場所/①10月3日(木)・県自治会館②10月4日(金)・県石巻合同庁舎③10月7日(月)・県大崎合同庁舎④10月15日(火)・県大河原合同庁舎⑤⑥いずれも午後1時～5時
- 定員/①50名②～④25名(いずれも先着順)
- 受講者派遣企業負担金/受講者1人につき1000円
- 申し込み/9月30日(月)までに受講者派遣企業を通して電話で下記へ
- ④ 県雇用対策課 ☎ 022(211)2772

食の安全安心セミナーについて

食品中の放射性物質による健康影響についての講演や意見交換、BSEの検査体制強化についての説明などを行います。

- 日時・場所/①9月6日(金)・県大河原合同庁舎②9月27日(金)・県登米合同庁舎③10月4日(金)・県庁④⑤いずれも午後1時30分～4時

- 定員/①150人②120人③200人(いずれも先着順)
- 費用/無料
- 応募用紙/下記ホームページからダウンロード
- 申し込み/各開催日の前日までに、応募用紙に必要事項を記入の上、ファクシミリまたはEメールにより下記へ
- ④ 県食と暮らしの安全推進課 ☎ 022(211)2643 FAX 022(211)2698 Eメール: syokua@pref.miyagi.jp <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/shoku-ki/>

あなたの声掛けが自殺予防につながります

9月10日～16日は自殺予防週間です。自殺の予防には、自殺を考えるほど悩んでいる本人の変化に気づき、その悩みに耳を傾けることが重要です。

家族や友人がいつもと違う様子の時には声を掛け、話を聞いて、必要があれば下記または各種相談窓口(下記アドレス)への相談を助めてください。

- ④ こころの健康相談統一ダイヤル ☎ 0570(064)556
- ④ 県障害福祉課 ☎ 022(211)2518 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syoutufuku/field.html>

秋の交通安全県民総ぐるみ運動

9月21日(土)から30日(月)まで秋の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されます。交通ルールを守り、交通マナーの向上に努めましょう。

- 運動の基本/子どもと高齢者の交通事故防止
- 運動の重点/1.夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止2.全ての座席のシートベルトとチャイルドシート正しい着用の徹底3.飲酒運転の根絶
- ④ 県総合交通対策課 ☎ 022(211)2438

※日程や申込方法など、各記事のより詳しい内容は④にお問い合わせください。アドレスを掲載している記事は、ホームページにも詳しい情報があります。

仙台都市圏北部急行バス試験運行モニター募集

- 「自動車に頼りすぎない公共交通を中心とした持続可能なまちづくり」を進めるため、無料急行バス試験運行を実施します。試験運行のモニターとしてご協力いただける方を募集しています。
- 対象・定員/現在、仙台市方面へマイカーで通勤・通学している方・75人(応募多数の場合は抽選)
- 運行期間/11月5日(火)～29日(金)(土日・祝日を除く)
- 停車/バス停/大町バスターミナル、富谷町より台付近、仙台市泉中央駅付近
- 申込期限/9月17日(火)(消印有効)
- ④ 県都市計画課 ☎ 022(211)3134 <http://www.pref.miyagi.jp/site/tam/kyukobus.html>

原爆被爆者二世の健康診断について

原爆被爆者の二世を対象とした健康診断を実施します(検査費用は無料)。

受診を希望される方は、下記が最寄りの県保健所にお申し込みください。

- 対象/両親のいずれかが被爆者健康手帳を所有している、または所有していた方
- 実施時期/10月中旬～12月上旬
- ④ 県疾病・感染症対策室 ☎ 022(211)2636 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/>

県立高等技術専門校 離職者等再就職訓練(6日間) 受講者募集

- 内容/建設重機の操作
- 対象・定員/被災などで離職し、ハローワークに相談している18歳以上の方で、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示を受けられる方・各校20人
- 訓練期間・場所/①10月3日(木)～10日(木)・石巻高等技術専門校②10月16日(水)～23日(水)・仙台高等技術専門校③10月24日(木)～31日(木)・白石高等技術専門校

- 費用/受講料・教材費無料、保険料約900円、作業服や安全靴などは各自持参
- 申込期限/①9月11日(水)②9月25日(水)③10月3日(木)
- 申込先/各ハローワーク
- ④ 各高等技術専門校
- ④ 県産業人材対策課 ☎ 022(211)2762 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/tokubetukunren-zukui.html>

里山林の管理基礎講座

- 内容/人工林および雑木林の手入れ、道具の使い方やメンテナンスの基礎的な講義と実習(全4回)
- 対象・定員/全回受講可能な方・15人(応募多数の場合は抽選)
- 日時/①10月6日(日)、19日(土)、11月2日(土)、16日(土)いずれも午前9時30分～午後4時
- 場所/県果樹技術総合センター
- 費用/無料(昼食各自持参)
- 申し込み/9月13日(金)(消印有効)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、受講希望理由を記入(文字数任意)し、下記へ
- ④ 県果樹技術総合センター ☎ 022(345)2816 〒981-3602 大町大町字はね木 14

県民提案型森林づくりへの活動を支援します

- 県内のNPOや企業・団体などが取り組む森林づくり活動への支援を行っています。
- ④ 県民提案型プロジェクト支援
- 補助上限額/1件当たり100万円
- 募集件数/6件程度
- ④ 県民参加の植樹イベント支援
- 補助上限額/1件当たり30万円
- 募集件数/6件程度
- 申込期限/ともに9月20日(金)(消印有効)いずれも書類審査の上、補助の可否を決定します。
- ④ 県果樹振興課 ☎ 022(211)2911 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/>

廃棄物の不法投棄は重大な犯罪です

(9月は廃棄物不法投棄防止強化月間) ～美しいふるさとを次の世代へ～

東日本大震災により発生した大量の災害廃棄物の不法投棄が心配されています。県では、9月を強化月間として、不法投棄を未然に防止するためのさまざまな対策を強化しています。

循環型社会に向け不法投棄撲滅を

東日本大震災からの復興が着実に進む一方で、人目につけにくい山間部や河川に廃棄物が安易に捨てられるといったケースが後を絶ちません。廃棄物の不法投棄や不適正処理は、自然環境や景観を損なうだけでなく、悪臭、地下水汚染などにより私たちの健康や暮らしにさまざまな影響を及ぼしかねない問題です。一人一人が廃棄物処理のルールをしっかりと守り、ごみの少ない社会、循環型社会を築いていきましょう。

※ 有限である資源を効率的に利用し、再生産を行い、持続可能な形で循環させながら利用していく社会

県内沿岸部の監視活動を強化

産業廃棄物適正処理監視指導員(産廃Gメン)が、日々、県内をくまなくパトロールしています。今年は県内沿岸部を担当する産廃Gメンを増員し、沿岸部の監視活動の強化に当たっています。

スカイパトロール

地上での把握が困難な不法投棄を早期に発見するため、国や他自治体などと連携して、ヘリコプターを用いた空からのパトロールを実施しています。

廃棄物運搬車両を一斉検問

産業廃棄物の運搬車両などを対象とした検問を行い、違反行為の早期発見・早期対応に努めています。廃棄物が県境を越えて処理されることも多いことから、関係自治体で合同で検問を実施し、不法投棄防止の効果を高めています。

県境パトロール

岩手、秋田、山形、福島、各県と連携し、県境付近に重点を置いてパトロールを行っています。複雑に入り組んだ県境付近をそれぞれの県でパトロールすることにより、監視の目を隅々まで行き渡らせています。

団体や企業と情報提供協定を締結

不法投棄されやすい山間部などの監視強化のため、山間部などで事業活動を行っている団体や企業と不法投棄の情報提供に関する協定を締結し、早期発見、被害拡大の防止に努めています。

不法投棄は「しない」「させない」「許さない」

廃棄物の不法投棄を発見したら、お住まいの市町村、最寄りの保健所または下記までご連絡ください。

- ④ 県環境型社会推進課 ☎ 022(211)2463 FAX 022(211)2390 Eメール sanpai110@pref.miyagi.jp